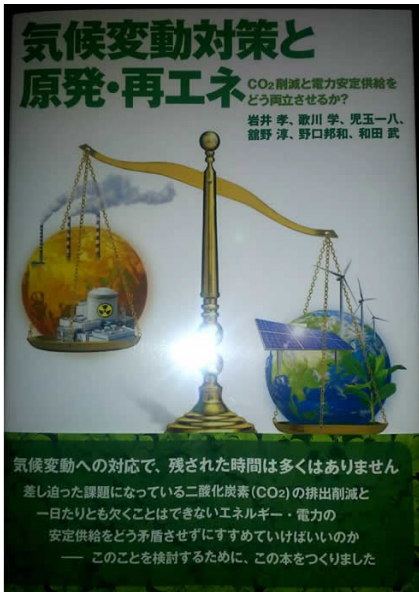




竹村石材新聞



日が暮れるのも早くなり、朝晩冷え込むようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。息子の高校野球時代の保護者の方で、一緒に野球観戦に行くなど交流が続いている方から、将来用に墓地の購入を考えているとの旨ご相談を頂きました。定年を迎え、また子育ても一息ついたので、これからゆっくり検討したいとのことでした。この新聞でも何度かご紹介しましたが、この方は何冊も本を出しておられます。今年の春にも著書を頂戴していたのですが、新聞に掲載する

のが今号になってしまいました。公私共に大変お世話になっており、また著書を通じて、これまでよく知らなかった分野について知るきっかけを頂きました。息子の野球を通じてのご縁に心から感謝したいと思います。

竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp



知っていますか? 11月の記念日

●11月28日は「太平洋記念日」です

ポルトガルの航海者フェルディナンド・マゼランが、1520年のこの日に、南米大陸南端の海峡を通過して太平洋に出ました。この海峡は、のちに「マゼラン海峡」と命名されました。航海中にマゼラン自身が亡くなった後も、その弟子たち一行が航海を続け、世界を一周して帰国したことで、「地球は丸い」ということが証明されました。



■発行者：竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大



竹村元成

竹村石材株式会社
TEL: 076-241-0325
石川県金沢市寺町5-2-38

😊 ～お墓・仏事の三ニ知識～ 😊

★子どもの成長を祝う、「七五三」の由来



七五三の起源は、公家や武家の間で主に行われていた、3歳男女児の「髪置(かみおき)」、5歳男児の「袴着(はかまぎ)」、7歳女児の「紐落(ひもおとし)」というお祝いの儀式とされています。これが江戸時代に関東で庶民の間

にも広まり、明治になると「七五三」と称して神社に参詣するようになり、晴れ着を着せてお参りし千歳飴などを買って帰る、今日のような七五三が全国に広まってきました。11月15日となったのは、この日が吉日あるいは満月の日だからという説以外に、徳川5代将軍綱吉が子息徳松の健康を祝った日という説もあります。いつの時代も、親が子どもの健やかな成長を願うのは同じですね。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

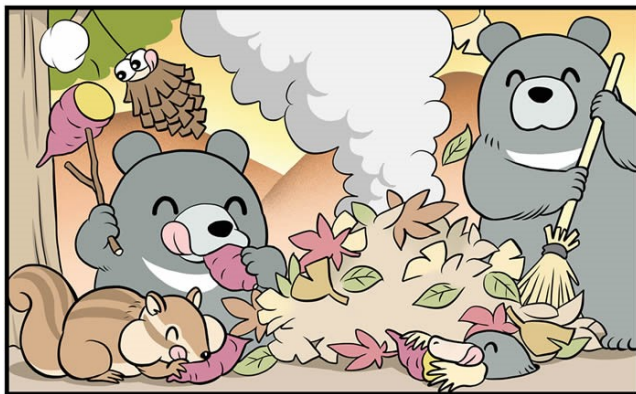
長崎県の淡島神社には、珍しい鳥居が3つあります。すべてくぐると思安産の御利益があるともいわれていますが、それは次のうちどんな鳥居でしょう？

- ① 黄金に輝く鳥居
- ② 海底に立っている鳥居
- ③ 高さ・幅が約30cmの小さな鳥居

ヒント

大人がくぐるのはなかなか大変です！

☕ まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。
ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。